

## ■ 研究所だより

細越 雄二

2012年ももうまもなく終わろうとしています。毎年のことですが、時が経つのは本当に早く感じられます。本年1月号(第234号)の研究所だよりに、世界各国で指導者の選挙が行われ、交代が予想されている、と書きました。そして、日本でも民主・自民・公明の3党合意に基づき消費増税法案が成立し、「近いうちに」政権選択の選挙が行われることになりました。はたして「民意」はどのような選択をしたのでしょうか。結果が出てみないとわかりませんが、今後の社会の在り方を決めるものになることだけは確かです。

日本の経済は、日銀短観によると製造業を中心に景況感が大幅に悪化しており、雇用は遅行指標のため今後リストラなどで失業者が年末、年度末にかけて増えることが予想されます。リーマン・ショックのときと同じように、不安定な雇用に就いている方たちから先に仕事を失うことになってしまうのかとても心配です。大型補正予算編成の声も聞こえてきますが、景気刺激策があらゆる分野に及ばなければ意味がありません。選挙後の政権には経済運営に十分配慮してほしいと思います。

さて、私自身今年はどのような年であっ

たか振り返ってみると、仕事面では、岩手と埼玉の二つの大きな協同集会に携わることができ、また、協同総研の福島での総会・フォーラム、視察で多くの方々と出会うことができたことが何よりも印象深いものでした。その一方、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活との調和)が図れたとはとても言い難く、来年は仕事の進め方の見直しが最重要課題です。

また、本年は国際協同組合同年でした。私自身、協同組合の意義について、どれくらい発信し、伝えることができたかどうか反省点が残ります。国際協同組合同年が終わっても引き続き積極的に取り組んでいき、協同のネットワークをさらにつくっていきたいと思います。

来年は巳年(へび年)です。今年の干支の龍に比べると、毒蛇などもいてはどれも好きになれない動物(もっとも、龍は伝説上の生物で実際に動いているところはない)ですが、蛇は古来、信仰の対象で、生命力の象徴とされています。日本では白蛇は幸運の象徴とされています。私自身、過去の皮を脱ぎ棄てて(脱皮し)、新たな目標に向かってエネルギーにすすんでいきたいと思っています。